



横浜市立市民病院 市民公開講座 夏休み特別企画

体験型医療職場訪問

を開催しました！



平成 25 年 8 月 3 日（土）横浜市立市民病院で初の試みとして、「夏休み特別企画 体験型医療職場訪問」を開催しました。

当日は、中高生など 33 人が参加し、医師、栄養士による全体講義や、グループに分かれて各部門をまわり、様々な専門職の指導による体験学習を実施しました。

講義「生活習慣病について」

講師：横浜市立市民病院 糖尿病リウマチ内科 平野 資晴 医師

I 体のつくりと機能について

II 病気について～生活習慣病の中の糖尿病を中心に～

少し難しいけれど、学校で学んでいる理科や体育の内容が、社会でどのように活かされているのかが理解できる、充実した内容でした。



体験スタート！

画像診断部 CT装置を見てみよう!!

診療放射線技師の仕事内容や、CT装置の仕組みと活用方法を、実際の画像や機器を見ながら学びました。

その後、実際に人体の模型やかぼちゃ・サバなどの撮影を見学し、3D処理した画像を確認しました。プリントアウトした画像も持って帰りました。



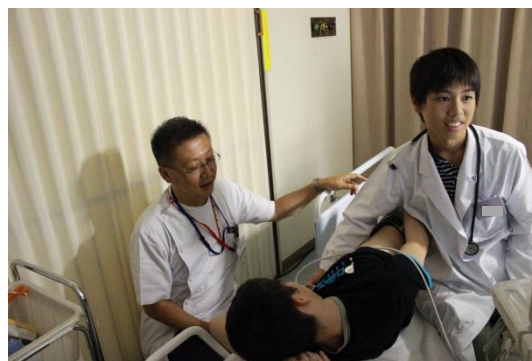
看護部 ナースのお仕事～やさしさがキャリアになる～

医療の現場で最も患者さんの近くにいる看護師の仕事や役割を学んだあと、実際に血圧測定、脈拍測定や動脈血酸素飽和度の測定を体験しました。



検査部 超音波検査で心臓を見てみよう!!

病院などの医療機関で血液検査、細菌検査、心電図等、様々な検査を行う臨床検査技師の仕事について説明を受けた後、超音波の仕組み、心臓の働きを学びました。そして実際に心臓超音波検査（心エコー検査）を体験！画像も記念に持って帰りました。



リハビリテーション部 リハビリテーションってなんだろう？

理学療法士（P T）、作業療法士（O T）、言語聴覚士（S T）はそれぞれどのような仕事をしているのかを学びました。

自分たちでも、姿勢を確認したり、反復唾液嚥下テスト（飲み込みができるかを確認）や認知機能のテストを体験。果たして結果は…？



薬剤部 糖尿病とくすり

薬剤師が行う様々な役割を学んだあと、調剤体験を行いました。

薬の一包化（様々な薬を一回分ずつ包む）、水剤（液体状の飲み薬）、散剤（粉末状の飲み薬）を実際に作って、記念に持ち帰りました。（中身は、薬に見立てたラムネやジュースなどです。）



臨床工学部 血液透析の仕組みを知ろう！

血液透析について学んだあと、本物の透析膜（ダイアライザ）にコーヒー牛乳を通す実験をしました。

透析膜で分離された液体をコップに取ってみて、色や味を比べてみました！



栄養部 病院の食事を食べて、栄養について考えてみましょう

栄養についての基礎知識を学んだあと、お待ちかねの病院食を試食！

試食の後には、またバランスのとれた食事をとるための様々な知識を教わりました。



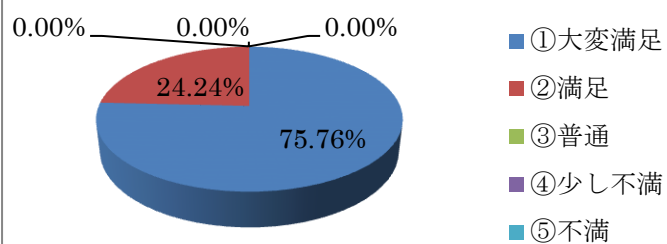
体験を終えて…

参加者、スタッフ全員で記念撮影をしました。夏休みの良い思い出になっていると嬉しいです！

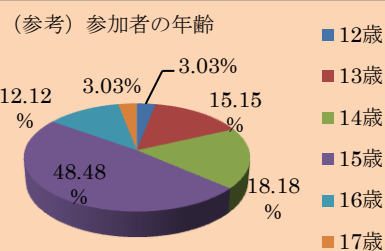


参加者アンケート結果（抜粋）

■全体を通しての感想



回答数 33（回収率 100%）



■自由意見

- ・ 普段できないような様々なことが出来、とてもよい経験だった。将来、今日のことが役立てられるような仕事がしたいと思った。
- ・ 以前から何度か医学に関しての体験をしているが、これほど直接的に体験できたのは初めて。
- ・ たくさんの内容ですばらしかった。遠方から来た甲斐があった。スタッフの対応が素晴らしかった。チーム医療がひしひしと伝わってきた。手提げ袋があるとよいかもしれない。写真まで撮ってくれてうれしかった。あたたかい雰囲気がとてもよかった。
- ・ 看護師さんやお医者さんがすごくおもしろくて優しくてすごく楽しかったし、一緒に働きたいと思った。病院食もすごくおいしく、毎日食べたい。普段、絶対できない経験がたくさんできてすごくうれしかった。

ご参加、ありがとうございました！

